

おお大勝利

平成 25 年度山東サッカー部報第 9 号 (5 月 27 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

Y2A第6節 長井戦 やっと終盤に勢い

5月25日(土) Y2A第6節長井戦が16時より日大山形Gにて行われました。当初は鶴岡にて試合が組まれておりましたが、チームバスを保有しない山東にとって村山地方の試合ありがたい、そして相手チームにとっても村山地方での試合だと移動時間が短く現地集合できる、という事情により、遅い試合開始ではありますが日大山形のグラウンドをお借りして試合を致しました。相手は、長井工業同様に苦しい星が続く長井高校。**県総体に向けた最後の公式戦**ということもあり、結果はもちろんのこと、内容も伴いながら勢いを感じて試合を終え、県総体に良い感触のまま臨みたい。

当日は10時と12時開始でY1の試合(同じく日大G)があり、スカウティングのため観戦いたしました。当たり前ですが、迫力はY2と雲泥の差。**どのレベルに合わせてプレーするか、というのは(という意識は)とても大切なことであり、県総体優勝を目指しているならばY1で通じるプレーか否かの基準を選手には大切にしてほしい。**自分たちが在籍していながら不遜ですがY2で通じるか否かではないし、ましてや山東で通じるか否かでもない。そういえば、私が高校の時の監督(ということは・・・)は常々、「インターハイに出たいと思ったら、県でどうやったら勝てるかではなく全国でどうやったら勝てるかを考えなさい」と仰っていました。そういう意識づけにより、県で勝ったこともなくせに、全国に出て恥ずかしくないチーム・選手にならなければならない、と強く思ったものです。そういう意識でいたら、結果的に県で勝てました。**目の前の実際の結果ばかりでプレーの成否を語るのではなく、(自らが掲げた高い内的)基準との兼ね合いでプレーの成否を語ることの重要性**を、改めて思い知らされます¹。あまり長くなると、「ヨイショ」になりますので、試合レポートに移ります。

前半、最終ラインのバタつきが目立つ。長井は前線の速い動き出しを活かし、ダイレクトに(ゴールに直線的に)攻めつつ、バタつきラインを下げる山東ディフェンスの機を見て、足元へのパスに切り替えるなど、硬軟織り交ぜて攻めてくる。長いボールを送り込んだ時のMFのセカンドボールへの意識も高い(しっかり押し上げてくる)。対して山東は、「立ち上がり5分間(10分間)は安全にロングボール中心に攻撃する」という約束事を確認しなかったからか、ただでさえスキルに欠けるのにボールが足につかない時間帯に小さいことをやって自滅している印象。**最終ラインは不安定だし、不安定さが消極性につながってラインを上げられず、間延びしている(よって選手間の距離が空き過ぎてセカンドボールを拾えない)**。MF・FWも奪ったボールを相手ゴールに進めるか、しっかり保持して、流れを変え

¹ 要は「ここでは(このマッチアップ相手では)成功したけど、(自分が目指す)上のレベルの相手だったら今のプレーでは通用しなかったな」と自分のプレーをチェックできるか否かということ。

ることができない。**長井の出足が勝る前半**。「長井気合入ってるな～」などと苦虫噛みながら観ていましたが、それは当たり前。県総体前に波に乗りたいたのはどこも同じ。試合開始早々にCK後のゴチャゴチャから先制しますが、内容的には乏しい前半。初スタメンの1年MFカツミ（3年ミサキマネ弟 ということは・・・）が、周りをよく観ながら（観過ぎ!）の「行き掛かり上のドリブル」からのシュートが一番の見せ場だったか。でもカツミ君、「パスしたい、パスしたい、でもできない、どうしよう・・・」というハラハラドキドキがプレーに表れてましたよ！ 部報前号注2参照のこと！！一発のパスにCDFが完全に置き去りになり、相手FWにGKとの1対1のシーンを作られるなど、危ないシーンもあった前半を、GKオオノの好判断²により何とか切り抜け、1-0で折り返す。

後半も危ないシーンはありませんでしたが、全体的に見れば山東が盛り返したと言える内容。特にクリロンが高い位置取りを取ってからは攻撃に安定感が生まれ、長井の足が止まり間延びしたのをいいことに山東の攻撃が分厚く続く。というかその前に、上述のように前半相手に作られたDF裏への一発のパスからの好機を逆に作り、その好機を我らがフィニッシャー「ちゃっかりコテツ」が決め、突き放していたのが山東にとって（そして「後半行ける！行くぞ！」と気合を入れて後半に臨んだであろう長井にとって）大きかった³。終盤FKから3点目、そして、**途中出場米兵ことケイジュの練習でも見たことのない目の覚めるミドルシュートがバシッと決まり**、結局4-0で勝利。終盤にやっと勢いあるゲームを展開できました・・・。

最終的にはハイスコアの勝利と言えますが、長井の鋭い攻撃に苦しめられた、決して4点差ついて良い試合ではなかった、目標から考えると攻守にわたり山東の課題は大きい、と言わざるを得ない、そんな勝利。ただ、米兵のシュートに見られるように、意外な活躍があり、それは好材料。試合後、シュートの感触を聞くと、「ボールを蹴ったときのインパクトが気持ち良かった（軽かった）」とのこと。そうなんです、すごくキックがうまく行くと、ボールの重さを感じないんです。そしてボールがスローモーションでネットに吸い込まれる。県総体ではこのような「ラッキーボーイ」大歓迎です。

さあ、いよいよ今週末から県総体です。「**山東は一戦一戦強くなる**」(故武田前OB会長)。自分を信じ、自分たちを信じ、自分たちがやってきたことを信じ、県総体に臨みましょう。時は満ちた・・・。

6月1日(土) 県総体一回戦 VS 米沢工業 @米沢工業G 15:30~

完全アウェーが予想されます。負けない熱い応援よろしくをお願いします。

それに勝つと

6月2日(日) 県総体二回戦 VS 羽黒 @米沢SF西 11:00~

昨年完成した人工芝2面の会場です。米沢中央高校の向かいにあります。

² ループシュートを直前で読み、早めにバックステップを踏んだのは好判断でした！

³ この表現は、「ちゃっかりコテツ」の得点力を褒めるものでもありますが、ちゃっかり決める以外の働きが足りないということへの注文でもあります。